

防災道の駅「うきは」より被災地へコンテナ型トイレを派遣 ～ 令和6年能登半島地震への「道の駅」ネットワークの貢献 ～

令和6年1月1日発生した能登半島地震の被災地支援のため、九州地方整備局より、防災道の駅「うきは」（福岡県うきは市）に設置している防災用コンテナ型トイレを道の駅「あなみず」（石川県穴水町）に派遣し、設置しました。

1. 設置場所等

設置場所：道の駅「あなみず」（石川県穴水町）

〈派遣の行程〉

- ・ 道の駅「うきは」（福岡県うきは市、防災道の駅）を1月11日（木）21時に出発
- ・ 道の駅「あなみず」に本日12日（金）14時50分に到着、17時30分設置完了

2. 防災用コンテナ型トイレの概要

- 本トイレは、平常時は道の駅「うきは」で活用し、災害時には被災地に運搬して活用が可能な防災対応型です。
- 浄化処理システムにより、運用時に給水を行えば、水洗用の水は不要。また、太陽光発電・バッテリー等の電源機能も有しており、完全自己処理型トイレとして、使用することが可能です。

＜問い合わせ先＞

道路局 企画課 評価室 企画専門官 本田（内線 37672）
企画専門官 高濱（内線 37552）
代表 03-5253-8111 直通 03-5253-8593

九州地方整備局 道路部 交通対策課 課長 鵜林（内線 4511）
課長補佐 伊東（内線 4512）
代表 092-471-6331 直通 092-476-3534

■防災用コンテナ型トイレの特徴

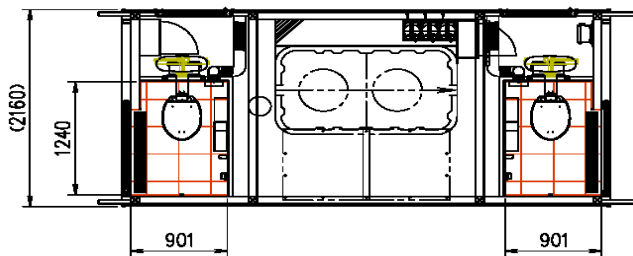
- 災害時に移動して使えるコンテナ型の水洗トイレ
(平常時は、道の駅「うきは」に設置)
- 太陽光発電装置を搭載し、商用電源への接続が不要
- 浄化システムを搭載し、上水道・下水道への接続、汲み取りが不要

○停電、断水中でも使用可能

■設置場所：道の駅「あなみず」(石川県穴水町)

- 現地の道の駅の被災状況を踏まえ、被災地ニーズを把握するなど、道の駅ネットワークを活かして設置先を選定

道の駅「うきは」(福岡県うきは市)
防災用コンテナ型トイレ



コンテナ外寸：
横幅 5,000mm
奥行 2,150mm
高さ 2,250mm



至 七尾市



道の駅「あなみず」への設置



防災用コンテナ型トイレ外観



設置作業の状況



道の駅「うきは」出発時

都道府県の地域防災計画等で、**広域的な防災拠点に位置づけられている道の駅**について、「**防災道の駅**」として選定し、防災拠点としての役割を果たすための**重点的な支援を実施**

主な役割

重点的な支援 (最大5年)



広域的な防災拠点機能を持つ道の駅

「防災道の駅」のターゲット

ハード面

・防災機能の整備・強化を交付金で重点支援

ソフト面

・BCPの策定や防災訓練について国のノウハウを活用した支援

地域の防災拠点機能を持つ道の駅

その他の道の駅

大規模災害時等の広域的な防災拠点



- ・自衛隊、警察、テックフォース等の救援活動の拠点
- ・緊急物資等の基地機能
- ・復旧、復興活動の拠点等

地域の一時避難所



全体1,209駅
(令和5.8.4時点)

「防災道の駅」選定箇所 (39箇所)

(令和3年6月11日選定)

参考

